

平成 31 年度(2019 年度) 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	51	学校名	県立土浦第三高等学校				課程	全日制		学校長名	鈴木拓夫					
教頭名	山本俊之								事務長名	柳澤松雄						
教職員数	教諭	47	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	3	実習教諭,実習講師,実習助手	3	事務職員	3	技術職員等	3	計	65
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	58	62	55	63	51	69			164	194	9				
	商業に関する学科	55	65							55	65	3				
	商業科			13	27	19	21			32	48	2				
	会計ビジネス科			22	18	8	32			30	50	2				
情報処理科			26	12	17	22			43	34	2					

2 目指す学校像

生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図るとともに、「生きる力」や「豊かな心」を育み、社会に貢献できる人材を育成する学校

3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学習指導	基礎学力と相応の理解力を備えているものの、潜在能力が発揮されないまま高校生活の途中まで過ぎてしまう生徒が見られる。学習に取り組む姿勢や向上心の個人差、そして部活動との両立が図れないことによる家庭学習の未定着に起因する。	生徒一人ひとりの自ら学ぶ意欲や態度を育成する指導法の工夫と家庭学習の習慣化による学習時間を増加させるための手立て。
進路指導	主体的に進路選択を進めるための自己理解不足への対応や、学科ごとに教育課程が異なることに起因する進路希望別・学科別等の個別的指導展開により教職員の負担が増加している。希望進路の実現に向けて、3年間を見通した進路指導が重要となる。	進学に対応できる学力向上のための家庭学習の習慣化と就職のための基本的な生活習慣の確立および学力の定着。
生徒指導	定期的な服装頭髪等の指導によりルール遵守の意識が定着し、特別指導や問題行動の件数は少ない。引き続き家庭との連携を図り、理解と協力を求めていく。	校外での生活や交通安全などに対する規範意識ならびに SNS 関連の問題行動への意識高揚を継続して図る。
特別活動	文化祭、野球応援などの学校行事およびホームルーム活動が積極的、主体的に実施されている。生徒会誌の発行やマナーアップ運動などの生徒会活動も積極的に行われている。部活動においても活発な活動が展開され、多くの部で関東大会および全国大会出場等の実績を残している。	各種委員会活動の活性化や、部活動の実績の維持・向上。
健康・安全	心に問題を抱えていたり、特別な支援を必要とする生徒の入学に鑑み、その対応が必要となっている。また、自転車通学者が約 70% となっており、登下校時の交通安全・不審者対策等が不可欠となっている。地域と連携した防災訓練についても実施予定である。	地域関係機関との連携を図り、生徒の安全確保に努めるとともに、個に応じた支援のあり方について研修を重ねる。

施設・設備	外構工事も含めて、一連の校舎改築工事が終了した。 今後更に、岩田ヶ丘会館の改修工事が予定されている。	部活動・学校行事・駐車場等において効果的な施設活用を図り、関係機関等との協力を得ながら(駐車場確保等)学校行事の運営を図る。
広報活動	部活動や進路の実績、新校舎や施設・設備等について地域の中学校や民間教育機関に積極的にPRするとともに、ホームページを頻繁に更新し、最新情報の提供に努めている。 地域広報機関の協力を得、記事掲載をすすめている。	近隣中学校や民間教育機関への訪問に加え、ホームページの更新や内容の拡充が課題。

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力の育成を図り、自らの力で未来を切り拓く知性や教養など、活用できる能力を養う。 2 文武両道を推進するとともに、様々な体験や学習活動を通し、心身ともに健全で豊かな人間性を養う。 3 キャリア教育を充実し、望ましい職業観や勤労観及び社会性を養い、将来の夢や希望の実現を目指す。 4 普通科と商業関係学科の併設校として、地域に信頼される学校づくりを目指す。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
確かな学力の育成を図り、自らの力で未来を切り拓く知性や教養など、活用できる能力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の定着を図り、国公立大学及び難関私立大学への進学実績をさらに伸ばす。 ② 学習意欲の高揚に努め、自発的学習の習慣化と家庭学習の確立を図る。 ③ 個別面談及び保護者面談を充実させ、個々の学校生活の目的や進路希望を明確にし、自己実現に向け主体的に取り組む態度を育成する。 ④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。 ⑤ 進路希望の実現に向けた課外活動の充実を図る。 ⑥ 生徒の個々の興味や関心、適性等に応じた進級時の適切なコース選択を実施する。 ⑦ 商業関係学科において、専門科目の学習内容の充実を図り、資格取得の実績向上と進路実現を目指す。
文武両道を推進するとともに、様々な体験や学習活動を通し、心身ともに健全で豊かな人間性を養う。	<ol style="list-style-type: none"> ① 特別活動等の充実を図り、活力ある学校生活の創造に努めるとともに、調和のとれた生徒を育成する。 ② 生徒の規範意識を確立し、本校生としての自覚とマナーを心得た生徒を育成する。 ③ 道徳教育を推進し、人間としての生き方やあり方に関する指導の充実により、豊かな人間性・社会性を身に付けさせる。 ④ 生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図るとともに、様々な学校行事を通じ、個々の生徒の学校生活の充実を図る。 ⑤ 校外活動やボランティア活動への積極的参加を推進し、社会において必要な実践力を育成する。 ⑥ 文武両道を推進し、知育、徳育、体育のバランスのとれた学校運営を実践する。
キャリア教育を充実し、望ましい職業観や勤労観及び社会性を養い、将来の夢や希望の実現を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒個々の自己理解と職業に対する意識の高揚を図り、希望や適性に応じた進路実現のための的確な支援を行う。 ② 生徒の主体的な進路選択及び目標達成を支援するため、進路相談・学習相談・就業体験の充実を図る。 ③ 就職試験や面接試験対策等の充実を図り、将来的な生活設計の基盤づくりを充実させる。 ④ 適切な進路指導実践のため、本校の現状分析や教員の研修機会を充実させる。 ⑤ 探究的な学習を通して課題発見・解決能力の育成を図り、希望進路の実現を目指す。
普通科と商業関係学科の併設校として、地域に信頼される学校づくりを目指す。	<ol style="list-style-type: none"> ① 普通科・商業関係学科それぞれの進路目標の実現に向けた授業内容の充実および関係機関との連携に努める。 ② 学校のさらなる発展に向け、学校評議員・保護者・地域住民等からの情報や意見を聴取し学校運営に活用するとともに、地域関係機関との連携強化を図る。 ③ 中学校訪問を実施し、本校理解の推進を図る。 ④ 保護者や地域住民との情報交換を密にし、相互理解と協力体制の確立を図る。